



平成31年2月20日(水)

第13回のしろ市民まちづくりフォーラム開催 編

今年度で13回目を迎えるのしろ市民まちづくりフォーラムが能代市大会議室で開催されました。今年度は、昨年8月に出された日本風景街道有識者懇談会での提言を踏まえ、地域資源の再確認とその利活用における課題・解決に向けた取り組みについて、新たな連携を視野に今後の風景街道ネットワークの活動について、議論を深めました。

基調講演は株式会社まちづくり計画研究所代表取締役の今泉 重敏氏です。九州では街づくりの「きみまろ」と呼ばれるほど、話がお上手でした。まちの駅事例紹介では、サービス業・小売業、市役所など様々な施設がまちの駅へ登録し、歩くだけで楽しめるまちづくりをしている地域のお話や、一つの家に、一つの美しいものを飾る1戸1美運動など、魅力的なまちづくりができる手段だと感じ、とても興味深かったです。

話題提供では、シーニックバイウェイ北海道函館・大沼・噴火湾ルート事務局長の折谷 久美子氏によるシーニックバイウェイ北海道についての話題、cochi デザイン事務所代表の鈴木 了氏からは、八峰町で経営している体験型宿泊施設の立ち上げから現状についての話題、能代河川国道事務所長の増 竜郎氏からは、日沿道の整備状況について講演いただきました。

フロアディスカッションでは齋藤能代市長にもご参加いただき、フォーラム参加者の方と地域の課題について議論を深めていただきました。今年度のフォーラムでは、八峰町の森田町長、三種町の田川町長、藤里町の佐々木町長にもご参加いただき、貴重なご意見いただきました。

会場では能代山本4市町村から提供いただいたビューポイントのパネル展示も行い、多くの参加者の興味を引いていました。フォーラムを通して、能代山本地域の地域資源を再確認できたと感じました。

文：東 洸成



▲第13回のしろ市民まちづくりフォーラム実施状況



▲今泉 重敏様による基調講演



▲フロアディスカッション実施状況



▲能代山本4市町村ビューポイントパネル展示